

復興ありがとうホストタウン連絡協議会 第4回総会  
議事要旨

日 時：令和3年9月14日（火）17：00～17：30

形 式：オンライン開催

出席者：

|                                   |        |            |
|-----------------------------------|--------|------------|
| 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣              | 丸川 珠代  | マルカワ タマヨ   |
| 復興大臣                              | 平沢 勝栄  | ヒラサワ カツエイ  |
| 岩手県 文化スポーツ部副部長兼オリンピック・パラリンピック推進室長 | 佐藤 法之  | サトウ ノリユキ   |
| 宮古市 教育部長                          | 菊地 俊二  | キクチ シュンジ   |
| 大船渡市 市長                           | 戸田 公明  | トダ キミアキ    |
| 花巻市 市長                            | 上田 東一  | ウエダ トウイチ   |
| 北上市 スポーツ推進課長                      | 小田嶋 和広 | オダシマ カズヒロ  |
| 久慈市 生涯学習課長                        | 工藤 仁   | クドウ ヒトシ    |
| 遠野市 パラリンピック推進室長                   | 朝倉 優香  | アサクラ ユカ    |
| 陸前高田市 地域振興部観光交流課長                 | 村上 知幸  | ムラカミ トモユキ  |
| 釜石市 市長                            | 野田 武則  | ノダ タケノリ    |
| 二戸市 副市長                           | 大沢 治   | オオサワ オサム   |
| 雫石町 町長                            | 猿子 恵久  | サルコ シゲヒサ   |
| 矢巾町 町長                            | 高橋 昌造  | タカハシ ショウゾウ |
| 大槌町 町長                            | 平野 公三  | ヒラノ コウゾウ   |
| 山田町 町長                            | 佐藤 信逸  | サトウ シンイツ   |
| 野田村 村長                            | 小田 祐士  | オダ ユウジ     |
| 宮城県 オリンピック・パラリンピック大会推進局長          | 大山 明美  | オオヤマ アケミ   |
| 仙台市 東京オリンピック・パラリンピック事業担当課長        | 三井 悦弘  | ミツイ エツヒロ   |
| 石巻市 復興政策部長                        | 岡 道夫   | オカ ミチオ     |
| 気仙沼市 市長                           | 菅原 茂   | スガワラ シゲル   |
| 名取市 副市長                           | 我妻 諭   | ワガツマ サトシ   |
| 岩沼市 副市長                           | 鈴木 隆夫  | スズキ タカオ    |
| 東松島市 市長                           | 渥美 巖   | アツミ イワオ    |
| 亘理町 町長                            | 山田 周伸  | ヤマダ ヒロノブ   |
| 加美町 町長                            | 猪股 洋文  | イノマタ ヒロブミ  |
| 福島県 企画調整部 文化スポーツ局長                | 小笠原 敦子 | オガサワラ アツコ  |
| 喜多方市 市長                           | 遠藤 忠一  | エンドウ チュウイチ |
| 南相馬市 市長                           | 門馬 和夫  | モンマ カズオ    |
| 二本松市 市長                           | 三保 恵一  | ミホ ケイイチ    |
| 伊達市 総合政策課長                        | 渡邊 恭浩  | ワタナベ ヤスヒロ  |
| 本宮市 国際交流課長                        | 鈴木 哲史  | スズキ サトシ    |
| 川俣町 生涯学習課長                        | 望月 高   | モチヅキ タカシ   |
| 北塩原村 村長                           | 遠藤 和夫  | エンドウ カズオ   |
| 広野町 町長                            | 遠藤 智   | エンドウ サトシ   |

|   |    |       |           |
|---|----|-------|-----------|
| 檜葉町                                     | 町長 | 松本 幸英 | マツモト ユキエイ |
| 飯舘村                                     | 村長 | 杉岡 誠  | スギオカ マコト  |
| 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局<br>企画・推進統括官 |    | 勝野 美江 | カツノ ミエ    |
| 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局<br>参事官      |    | 大森 康宏 | オオモリ ヤスヒロ |
| 復興庁 統括官                                 |    | 林 俊行  | ハヤシ トシユキ  |

## 1. 開会挨拶

### ○丸川 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

- ・「復興ありがとうホストタウン連絡協議会第4回総会」にご参加いただき、感謝申し上げます。
- ・「復興オリンピック・パラリンピック」は東京大会の最も重要な柱であり、昨年6月にIOCと組織委員会が公表した大会の位置づけにおける「共通理念」においても、「復興」が大会の重点の1つであった。
- ・本日は、復興大臣としてご尽力くださった平沢大臣にもご参加いただいている。
- ・コロナ禍という制限がある難しい状況で、復興に重きを置いた交流や事前合宿の受入を行うことには多大なご苦労があったことと存じる。大会の成功に向けた皆様のご尽力に改めて御礼申し上げます。
- ・選手が実際に自治体に足を運べずとも、オンラインを活用すれば、地球の裏側の相手国の方々であっても触れ合いの機会が得られる時代であるため活用いただき、往来が可能になった際には対面での交流を再開していただくなど、本大会で得られた絆を今後も絶やすことなく、貴重な東京大会のレガシーとして未来へ繋いでほしい。
- ・本日の協議会では大会時の取組を振り返るとともに、来年度以降の活動についてなど、ご意見を頂戴したい。
- ・後刻の復興ありがとうホストタウンサミットでは、大会時に実践された様々な交流の様子を復興ありがとうホストタウンの皆さんからご紹介いただくので、楽しみにしていただきたい。

## 2. 議事

### (1) 会長・副会長の選任について

(司会)

- ・本協議会の会長は任期を1年とし、互選により選任としている。本年2月にオリパラ担当大臣に就任した丸川大臣を会長とすることを提案する。異議はないか。(異議なし)
- ・異議なしと認め、会長は丸川大臣にお願いすることとする。
- ・副会長については会長の意向により、引き続き、岩手県山田町長、宮城県加美町長、福島県南相馬市長にお願いすることとする。

### (2) 復興ありがとうホストタウンの連携した取組について

(内閣官房より説明)

- ・2017年9月から復興ありがとうホストタウンの登録が始まり、現在33自治体が登録している。
- ・連絡協議会は2019年6月に設立し、第1回総会を岩手県釜石市、第2回総会を福島県Jヴィレッジで開催。コロナの影響で第3回はオンラインで開催し、本日は4回目となる。
- ・これまで米国や台湾で連携したイベントを開催してきた。

- ・復興ありがとうホストタウン連絡協議会 Instagram で各自治体から毎日のように情報発信いただいている。
- ・2021年2月にNHK WORLDで岩手県大船渡市×米国、福島県飯舘村×ラオス、宮城県東松島市×デンマークの交流を番組として放映した。第二弾として事前合宿やオンライン交流等の大会時の交流も含めて紹介する内容で制作中である。
- ・パラリンピック閉会式翌日である9月6日に岩手日報・河北新報・福島民友・福島民報への広告を出稿した。
- ・東北3県内外での機運醸成と復興ありがとうホストタウンの取組を知っていただくため、ホストタウン Walker 復興ありがとう特集号を制作した。英語版も制作予定。
- ・東京大会期間中にはホストタウンハウスのバーチャル会場で情報発信も行った。復興ありがとうホストタウンの概要映像は選手村のカジュアルダイニングで毎日に放送していただいていた。
- ・自治体と農業高校などが地元の食材で相手国のおもてなし料理を開発をする「世界のおもてなし料理レガシープロジェクト」として名取市×宮城県農業高等学校（カナダ）と喜多方市×福島県立耶麻農業高校（米国）がメニュー開発を実施した。

### （3）東京大会後の連携した取組について

（内閣官房より説明）

- ・内閣官房オリパラ事務局の設置期限は2022年3月末となっているが、ホストタウンは永遠に不滅であり、各復興ありがとうホストタウンにおかれては継続した活動をしていただきたい。
- ・これまでは東京大会に向けて活動をしてきていただいたところだが、今後は北京大会や大阪万博なども踏まえて個々の自治体において目標を設定いただき、新たな交流計画を作成いただきたい。
- ・現在オンライン中心となっている相手国との交流も、可能になれば相互往来しての実施を計画いただきたい。
- ・本連絡協議会の会合も年一回は開催できればと考えており、サミット開催や共同での情報発信も継続できればと考えているところ。
- ・各ホストタウンの取組を、復興庁ほか関係府省庁でバックアップできるよう検討していく。
- ・来年度の地方財政措置でも支援できるよう検討中。

（復興庁より説明）

- ・この復興ありがとうホストタウンの取組は、支援いただいた相手国・地域との交流を通じて感謝の気持ちや復興しつつある状況を発信する重要な取組であり、今後も関係を発展させていただきたい。
- ・本年度で内閣官房オリパラ事務局が終期を迎えるので、復興庁へ事務引継の話をもっている。復興庁としても、復興五輪として情報発信や支援への感謝の気持ちを届ける取組を行ってきた。内閣官房オリパラ事務局で行ってきた全ての内容を引き継ぐことは難しいが、各自治体の取組の共有が図られるように情報交換の場の設定等各自治体の意見を伺いながら検討していく。
- ・復興庁としても、風評払拭や観光振興も含めて被災地の魅力を海外に向けて情報発信することは今後も取り組むべき重要な課題であると考えている。復興庁の予算・制度や各府省庁での取組で、復興ありがとうホストタウンにも活用できるようなものがあれば紹介するなど、今後も取り組んでいく。

#### (4) 意見交換

##### ①岩手県釜石市 野田市長

連絡協議会第1回総会は釜石で開催した。あれから各自治体で交流を深めてきたと思う。まずは丸川大臣を始め関係者の皆様に感謝申し上げる。残念ながらコロナ禍で当初計画していたオーストラリアとの交流が出来ない部分もあったが、その中でも精一杯交流に努めてきた。オーストラリア大使にはお世話になったので機会があれば感謝申し上げたい。相手国と良い関係・絆を築けて感謝している。ホストタウン活動は永遠に不滅という話もあったが我々も同感である。被災地への支援は忘れないもの、忘れてはいけないものであり、交流をレガシーとして継続していきたい。コロナで出来なかった交流を今後やっていくために国の支援と協力をお願いしたい。

##### ②福島県二本松市 三保市長

復興ありがとうホストタウンに支援いただき感謝。コロナ禍ではあったが選手・関係者を安全に選手村に送り届けられ、受け入れたクウェートとデンマークがそれぞれメダルを獲得するなど大きな成果をあげた。市民との交流の機会は限られていたが、今後はレガシーとして交流を発展させていきたいので支援と協力をお願いしたい。

##### ③丸川 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

両市で出来ることを模索し、選手が無観客の中で取り組む中での熱い応援をいただけたことに感謝。コロナ禍でできなかったことを次に取り組むべき目標としていることに賛同する。復興の現状を見せることは意義があるので、是非これから先も平沢大臣には復興庁において復興の発信の中で東京大会のレガシーを残していけるようお願いしたい。

### 3. 閉会挨拶

#### ○平沢 復興大臣

- ・本日は協議会に参加させていただき感謝。
- ・皆様からの発言のとおり、コロナ禍の厳しい状況の中で一生懸命に頑張っていたいただき、各方面から評価されたオリパラとなり御礼申し上げます。
- ・原則無観客開催の状況下で選手の受入や交流があまり出来ず残念であったが、各自治体が工夫を凝らしながらホストタウンの取組をなされており、これが本大会の成功の大きな要因であったので出席の皆様を始め関係者にお礼申し上げます。
- ・今後復興庁としては、世界の多くの人たちに被災地を訪問いただけるよう取り組んでいきたい。
- ・海外に被災地の魅力を伝えることが重要である。復興庁としても頑張るが、自治体としても各自のやり方でPRをお願いしたい。
- ・丸川大臣や釜石市長、二本松市長からも話があったとおり、本大会の大きなレガシーとしてホストタウンがあり、この財産を活用していかない手はない。復興庁としても、皆様の取組をしっかりと後押ししていくとともに、我々としても何を出来るかをしっかりと考えていきたい。
- ・ホストタウン交流をより盛んにすることで、各国・地域と自治体の友好が深まるよう祈念する。
- ・招いていただき重ねて感謝。

以上